



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月12日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 関根 秀利 (TEL) 0277-54-7101
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,132	1.2	427	△50.6	392	△57.5	265	△66.9
2019年3月期第2四半期	20,886	2.9	864	△5.3	923	△5.2	803	26.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 58百万円(△87.1%) 2019年3月期第2四半期 451百万円(△35.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	177.55	—
2019年3月期第2四半期	536.74	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	42,326	17,510	40.4	11,434.83
2019年3月期	43,297	17,599	39.8	11,510.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 17,116百万円 2019年3月期 17,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	100.00	—
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想) 期末配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり配当金については、第2四半期末は株式併合前の金額を記載し、期末は株式併合後の金額を記載しており、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,300	0.7	640	△37.8	620	△43.2	610	△24.0	407.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 砂永精工電子(東莞)有限公司、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,553,323株	2019年3月期	1,553,323株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	56,432株	2019年3月期	56,417株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,496,902株	2019年3月期2Q	1,497,079株

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境等の改善に伴い、緩やかな回復基調で推移したものの、海外情勢への不安や消費税増税後の個人消費の落ち込みへの懸念により、景気に足踏み感が見られました。また、世界経済についても、米中貿易摩擦による中国経済の減速や英国のEU離脱問題等により、先行きに対する不透明感が継続している中で、製造業においては在庫調整局面が続いております。

このような状況のもとで、当社グループはスローガン『Challenge 500』を掲げ、グローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、21,132百万円と前年同期と比べ245百万円の増加(前年同期比1.2%増)となりましたが、営業利益は一般産業用事業の売上減少等により427百万円と前年同期と比べ437百万円の減少(前年同期比50.6%減)、経常利益は392百万円と前年同期と比べ531百万円の減少(前年同期比57.5%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は265百万円と前年同期と比べ537百万円の減少(前年同期比66.9%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、欧米での売上は減少したものの、アジアでの売上が増加したことにより、輸送機器全体としての売上高は増加しました。

その結果、売上高は15,501百万円と前年同期と比べ1,043百万円の増加(前年同期比7.2%増)となりましたが、利益面に関しては、米中間の貿易摩擦や製品構成等の影響により、セグメント利益は582百万円と前年同期と比べ38百万円の減少(前年同期比6.2%減)となりました。

② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、主要なOA機器、モーター、変・減速機、印刷・製本、昇降・運搬の各業界向けの売上が減少となりました。

その結果、売上高は4,981百万円と前年同期と比べ930百万円の減少(前年同期比15.7%減)となり、セグメント損失は197百万円(前年同期は161百万円のセグメント利益)となりました。

③ その他

その他では、売上高が648百万円と前年同期と比べ132百万円の増加(前年同期比25.7%増)となりました。セグメント利益は41百万円と前年同期と比べ8百万円の減少(前年同期比17.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、現金及び預金の減少等により27,690百万円(前期末比1,322百万円減)となりました。固定資産は主に、有形固定資産の増加等により14,636百万円(前期末比351百万円増)となりました。その結果、資産合計は42,326百万円(前期末比970百万円減)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、電子記録債務の減少等により19,749百万円(前期末比655百万円減)となり、固定負債は主に、長期借入金の減少等により5,066百万円(前期末比226百万円減)となりました。その結果、負債合計は24,816百万円(前期末比882百万円減)となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定の減少等により17,510百万円(前期末比88百万円減)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は495百万円(前年同期比765百万円減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益392百万円、減価償却費733百万円、仕入債務742百万円の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,685百万円(前年同期比760百万円増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,192百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出380百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は228百万円(前年同期比305百万円減)となりました。これは主に借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年6月12日に公表いたしました業績予想数値を下回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2019年11月12日)公表いたしました「2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,000	5,626
受取手形及び売掛金	8,933	9,070
電子記録債権	2,635	2,697
商品及び製品	3,521	3,315
仕掛品	3,791	3,583
原材料及び貯蔵品	2,432	2,610
その他	879	913
貸倒引当金	△180	△127
流動資産合計	29,013	27,690
固定資産		
有形固定資産	11,138	11,594
無形固定資産		
その他	358	703
無形固定資産合計	358	703
投資その他の資産	2,787	2,338
固定資産合計	14,284	14,636
資産合計	43,297	42,326
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,278	4,009
電子記録債務	5,013	4,379
短期借入金	8,761	9,433
未払法人税等	225	79
賞与引当金	348	366
その他	1,778	1,481
流動負債合計	20,405	19,749
固定負債		
長期借入金	3,776	3,191
繰延税金負債	97	351
役員退職慰労引当金	754	736
退職給付に係る負債	112	174
資産除去債務	16	16
その他	535	595
固定負債合計	5,292	5,066
負債合計	25,698	24,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	13,521	13,640
自己株式	△350	△350
株主資本合計	16,873	16,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	579	592
為替換算調整勘定	△326	△586
退職給付に係る調整累計額	102	118
その他の包括利益累計額合計	356	123
非支配株主持分	369	394
純資産合計	17,599	17,510
負債純資産合計	43,297	42,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	20,886	21,132
売上原価	17,372	17,971
売上総利益	3,514	3,160
販売費及び一般管理費	2,649	2,733
営業利益	864	427
営業外収益		
受取利息	10	13
受取配当金	22	26
為替差益	52	—
不動産賃貸料	41	37
その他	38	55
営業外収益合計	165	133
営業外費用		
支払利息	77	84
手形売却損	2	2
為替差損	—	53
その他	26	26
営業外費用合計	105	167
経常利益	923	392
特別利益		
固定資産売却益	156	—
特別利益合計	156	—
税金等調整前四半期純利益	1,080	392
法人税、住民税及び事業税	227	103
法人税等調整額	16	△12
法人税等合計	244	90
四半期純利益	835	301
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	803	265

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	835	301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	12
為替換算調整勘定	△326	△271
退職給付に係る調整額	15	15
その他の包括利益合計	△384	△243
四半期包括利益	451	58
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	426	33
非支配株主に係る四半期包括利益	24	24

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,080	392
減価償却費	666	733
のれん償却額	—	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	△142
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	17
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	16	12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6	6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	24	△17
受取利息及び受取配当金	△33	△39
支払利息	77	84
為替差損益 (△は益)	33	15
有形固定資産売却損益 (△は益)	△156	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△877	△345
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△98	435
仕入債務の増減額 (△は減少)	695	△742
その他	79	371
小計	1,514	794
利息及び配当金の受取額	31	37
利息の支払額	△77	△84
法人税等の支払額	△208	△252
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,260	495
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,579	△1,587
定期預金の払戻による収入	1,573	1,582
有形固定資産の取得による支出	△767	△1,192
有形固定資産の売却による収入	406	—
投資有価証券の取得による支出	△37	△61
貸付けによる支出	△500	△1
貸付金の回収による収入	1	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△380
その他	△22	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△924	△1,685

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,530	5,291
短期借入金の返済による支出	△3,331	△4,701
長期借入れによる収入	125	—
長期借入金の返済による支出	△576	△581
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△179	△149
非支配株主への配当金の支払額	△6	△2
その他	△96	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	△533	△228
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84	△67
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△283	△1,486
現金及び現金同等物の期首残高	5,142	5,375
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	102
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,859	3,992

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間の期首より、砂永精工電子(東莞)有限公司の持分を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。また、砂永精工電子(東莞)有限公司は当社の特定子会社に該当しております。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間の期首より、株式会社三泉及びオグラクラッチ・フィリピン, Inc.の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,457	5,912	20,370	516	20,886
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45	3	48	—	48
計	14,503	5,916	20,419	516	20,935
セグメント利益	621	161	782	50	833

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	782
「その他」の区分の利益	50
内部取引消去	16
棚卸資産の調整	16
減価償却費の調整	1
全社費用(注)	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	864

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,501	4,981	20,483	648	21,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	19	63	—	63
計	15,545	5,001	20,547	648	21,195
セグメント利益又は損失(△)	582	△197	385	41	427

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	385
「その他」の区分の利益	41
内部取引消去	△15
棚卸資産の調整	14
減価償却費の調整	2
全社費用(注)	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	427

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間の期首より、新たに持分取得した砂永精工電子(東莞)有限公司並びに重要性が増した株式会社三泉及びオグラクラッチ・フィリピン, Inc. を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は「輸送機器用事業」で103百万円、「一般産業用事業」で100百万円、「その他」で19百万円であります。